Gifu Occupational Therapist Association News

ごったに 99号

2020年11月

事務局：平成医療短期大学 リハビリテーション学科作業療法専攻
〒501-1131 岐阜市黒野180 TEL＆Fax:058-234-6763
E-mail:jimu@gifu-ot.com　http://gifu-ot.com

目次

・巻頭言　～やり続けることの意義～
・活動報告　（2020年８月～10月）
・特集記事「コロナ対策記事　＆　私の職場の強み」
・岐阜県リハビリテーション協議会便り
・私の職場の強み　株式会社　ひまわり
・突撃！となりの作業療法士
・新入会者・退会者数紹介

やり続けることの意義

株式会社 ALTHEA　代表取締役
一般社団法人 Next　Door　代表理事
社会福祉法人 立葵会　理事長
渡 邊　雄 介

「継続は力なり」みなさんはこの言葉を、幾度となく耳にしていることではないでしょうか？しかし、実際に「やり続けること」はそんなに簡単な事ではないこともみなさんはごぞんじでしょう。私も、起業して丸８年が過ぎようとしています。何度も挫折を経験しました。実は何度もやめたいと思うこともありました。その度に頭をよぎるのが、この「継続は力なり」でした。じゃあ、あなたは何をやり続けたの？気になりますか？難しいことは何1つやっていません。私がやり続けたのは、「素直であり続けること」「とりあえずやってみること」「人に感謝すること」この３つです。この３つをやり続けたことで、何とか８年間、生き抜くことができています。「素直であり続けること」起業して右も左もわからない時、私は周りの方の意見を素直に受け入れました。そして、「とりあえずやってみる」損得考えることなく、言われたことはすぐ実践しました。「人に感謝すること」実践の結果、いいことも、悪いこともありましたが、どんな時も、ご教示いただいた先人に感謝しました。これを繰り返すことで、自分自身が成長するということを実感できました。「やり続けること」でしか味わえない達成感もあると思います。ぜひ、これからの世代を担う若い作業療法士の皆様には、「やり続けること」をお勧めします。

先輩に指導を受けると、「なんでわかってくれないの？」とか「せっかく頑張ってやったのに」とか思うときありません？そんな時は、多分素直じゃないのだと思います。先輩の声を損得で判断していませんか？まずは言われたら、即実践です。そのあとに、良かったこと、出来なかったことを、また先輩に投げかけていきましょう。そして「教えてくれてありがとう」と感謝しましょう。心から、人に感謝できた時、あなたの実践は初めて自分の力となると思います。

私は生涯、この３つをやり続けていこうと思います。みなさんはどうですか？

岐阜県作業療法士会　活動報告

2020年8月～2020年10月

【記載内容】
日付／内容（場所）
＊備考（研修会のテーマ・参加者数など）

全部局

10月24日／岐阜県作業療法士会　理事会
（平成医療短期大学）

会　長

8月24日／第3回　MTDLP全国Web会議
9月12日／47都道府県委員会Web会議
10月2日／JRAT　Web講演会
10月7日／第4回MTDLP全国Web会議
10月9日／子供・女性局　子育て支援課訪問
内容：放課後児童クラブにおける専門支援について
（岐阜県庁　健康福祉部）

社会局

地域リハ推進部

8月8日／地域支援事業に資する人材育成研修会（Web）
8月24日／岐阜県介護予防推進会議（Web）
9月25日／フレイルサポーター養成研修
（那加会場）
10月2日／フレイルサポーター養成研修
（那加会場）
10月13日／フレイルサポーター養成研修
（鵜沼会場）
10月17日／地域ケア会議推進リーダー導入研修会
10月18日／介護予防推進リーダー導入研修会
10月20日／岐阜県介護予防推進会議（Web）
10月20日／日本OT協会地域包括ケア委員会
Cブロック研修会（Web）

広報局（会員向け）

8月26日／広報誌「ごったに」98号　発行

教育局

生涯教育部

6月24日～R3年3月31日／生涯教育手帳の移行期間

特別企画

今一度確認しよう、コロナ対策

コロナウイルスの流行から時間が経過し、ウイルスとの共存と言われる時代となった今、皆さまはどの様に生活をされていますか？以前とは違う生活となってきましたが今一度コロナウイルスの感染のしやすい環境に注意をして生活をしましょう。

リスクが高まる「５つの場面」

場面 1 飲酒を伴う懇親会等

● 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
● 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが 高まる。
● 回し飲みや箸などの共用が 感染のリスクを高める。

場面 2 大人数や長時間におよぶ飲食

● 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
● 大人数、例えば５人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

場面 3 マスクなしでの会話

● マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染 やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
● マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなど での事例が確認されている。

場面 4 狭い空間での共同生活

● 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。
● 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が 共有されるため、感染リスクが高まる。

場面 5 居場所の切り替わり

寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる 事例が報告されている。
● 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り 替わると、気の緩みや環境の変化により、感染 リスクが高まることがある。
● 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が 確認されている。

2020 年 10 月 23 日：厚生労働省より

岐阜県リハビリテーション協議会だより No.6

afterコロナのパラダイム

COVID-19・・・　長期戦ではなく日常!!　どんな日常？　江戸時代、天下泰平「安定」の日常、明治時代、富国強兵の「強さ」の日常、戦後「モノの豊かさ」の日常。時代のパラダイムは変わってきた。首都圏に出入りができなくなり、一極集中の都市伝説は崩れて、敢えて行かなくてもZoomで間に合い、押印も不要で会社へも行かない（私たちは違うけど）。地方と家の時代へ。とは言え、お盆に帰省することもままならない。お墓参りは代行屋さんに任せて画像で確認。今も「故郷は遠きにありて思ふもの」か・・・

WEBでつながるリアルの時代になった。これまで直接対面での研修会や市町村からのリハ専門職の派遣委託事業は、今年度突然にストップ。当初はbeforeコロナを待つ身であったが、どうやらafterコロナにシフトしないといけない。協議会の事業計画の再構築を思案中！　（文責：柴　　貴　志）

特集記事 ②

「私の職場の強み」の筆頭募集

あなたの仕事をされている職場は
どの様な職場ですか？

「ごったに」の中に私の職場の強みが掲載されて17回目となりました。

今までも印象深い職場をいくつも掲載させて頂きましたが今回は掲載する希望のある職場を募集したいと思います。

一人職場であったり、職場の規模に関わらず作業療法士が仕事をしている職場であれば筆頭お待ちしております。

私の職場の強み

第17回

株式会社　ひまわり

◆療法士を目指したきっかけ（油利木賢一 /PT）

高校生の時、「1 リットルの涙」を見てから療法士という仕事を意識しました。効果的な治療法が無い状態でどう進行を遅らせるか、どう家族と関わっていくか、どう改善していくかドラマを見て、リハビリというものに興味を持ちました。

◆仕事のやりがい

（ひまわりは、パーキンソンの利用者様が多いので）起き上がりが困難な方が多数いるので、動作を勉強して利用者さんに実証してもらっています。「出来たー！」って言ってもらえると、自分自身も嬉しいですし勉強して良かった　と思えます。

◆ひまわりってどんな所？　（佐藤あかり /OT）

すごく明るくて喋りやすい場所です（笑）
仕事の話以外にも家庭の悩みも相談できる環境なので、良い雰囲気の職場です。

◆入社した理由は？

訪問リハビリやスポーツクラブなど、デイサービス以外にも色々な事にチャレンジしているので、自分自身も成長したいと思ってひまわりに入社しました。

◆入社してからの自分の変化ってある？

ひまわりに入社してから、目の前にいる利用者さんをなんとかしてあげたいという気持ちになりました。（以前よりも）症例にあった治療法を本で調べてたり、自分の身体を実験台にしてみたり（笑）毎日が一生懸命ですね！

先輩インタビュー本編はコチラから＞＞

ひまわりに在籍する２人の先輩のインタビューがご覧いただけます。自身の体験談以外にも、職場の雰囲気や訪問リハビリの様子など、色んな発見があると思いますので見てみてください〜！！

公式 Instagram、採用 LINE グループもあるのでお気軽に
皆さまの質問にお答えします♪

1. 飛騨地域に元気と活力を提供します
2. 最高・最新のリハビリを研究し提供します
3. 常に新しいサービスを開発し提供します
4. スタッフ皆が楽しくやる気のある環境を提供します

法人名称：株式会社ひまわり
HP：www.himawari-g.net
電話：0577-77-9530 FAX：0577-77-9531
所在地：〒506-0807 岐阜県高山市三福寺 810-62

第19回
突撃となりの作業療法士

老人保健施設サントピアみのかも
服部　優香理　さんからのご紹介

テーマ　私が大切にしていること

岐阜清流病院
継　石　祥　平

略歴：平成26年
　平成医療専門学院　作業療法学科　卒業
平成29年
　AMPS認定評価者　取得

職歴：平成27年
　岐阜中央病院（現　岐阜清流病院）入職

作業療法士の免許を取得し５年目となり、急性期から生活期まで多くの領域に携わらせて頂きました。どの領域でも、共通して大切なことは「クライエントの語りに耳を傾け寄り添うこと」と考えております。

数年前私が担当させていただいたクライエントは、「こんな状態じゃ、家のゴミ捨てや趣味のサイクリング、パソコンもできない、何もできなくなった」と言っていました。自宅で自分らしく生活を送りたいという希望。病気を患い元の生活に戻ることができるのかという不安を抱えているクライエントがみえます。クライエントの語りに耳を傾け寄り添うことを心掛けているうちに「家に帰ってもゴミ捨てやパソコン作業ができそうです」と語りの変化がありました。

意味のある作業の再獲得を支援するためにも、クライエントの語りに耳を傾け、ナラティブから意味のある作業を聞き出す必要があります。OTとして今後も自己研鑽し、日々努力をしていきたいと思います。

印刷　（有）いすくら
〒501-2514 岐阜市三輪宮前 164-1
TEL.058-229-6091 FAX.058-229-6093
isukra@muse.ocn.ne.jp

2020 年 10 月

岐阜県全会員数 598 名（休会者を含む）
県士会所属施設 160 施設

災害窓口

災害安否確認訓練の結果について

9月25日（金）に行われた災害安否確認訓練の結果をご報告します。

総会員数　　528名
配信メール数　528通
返信メール　　331通
返信率63%でした。
お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

災害窓口担当　　池戸　秀行

機関誌編集部

機関誌「岐阜作業療法」論文投稿のお願い

日頃より機関誌編集部の活動にご協力頂きまして、厚く御礼申し上げます。

この度、機関誌「岐阜作業療法」発刊に向けて準備を進めておりますが、現在、論文の投稿が少ない状況です。

岐阜県作業療法学会だけでなく、日本作業療法学会等、他学会で発表された方も、論文として岐阜作業療法に投稿してみてはいかがでしょうか？

「論文を書くのは難しそうだ」と思っている方も多いと思います。査読等の手続きを通して、掲載までサポートしますのでご検討頂けると幸いです。よろしくお願い致します。

機関誌編集部　宇佐美　知子
E-mail : usami-dort@toyota.ac.jp

広報部（会員向け）

次号でこの広報誌「ごったに」が100号となります。次号の特集記事は普段はあまりないような特集を考えておりますのでご期待ください。

今後も岐阜県の作業療法が盛り上がるような記事を心がけますのでよろしくお願い致します。

岐阜県作業療法士会ニュース「ごったに」編集
岐阜県作業療法士会（広報部・会員向け）

山田病院
〒501-0104　岐阜市寺田7丁目110番地
TEL. 058-254-1411
FAX. 058-254-1413

山内ホスピタル
〒500-8381　岐阜市市橋３丁目７番22号
TEL. 058-276-2131
FAX. 058-276-1501